

# 令和元年度 修了式 式辞

本日をもって令和元年度の全ての教育活動が修了することになります。

本来ならば、生徒の皆さんに修了式の中で直接お話するところですが、福岡県ではコロナウイルス感染拡大防止により休業措置が取られておりますので、紙面での式辞とさせていただきます。

昨年4月に本校へ赴任して以来、学校行事や授業・実習、部活動など、学校のいたるところで皆さんの頑張り、成長を感じてきました。また、進んでボランティア活動や地域に出向いて交流する人も多く、本当に感心しています。校長としてこんなに嬉しいことはありません。これからも妥協せず、もっともっと自分の可能性を追求してほしいと思います。

その一方で、不完全燃焼の人もいると思います。過ぎてしまったことは仕方ありませんが、原因を振り返り来年につなげてほしいと思います。

さて、冒頭でお伝えしたように、いま我が国のみならず世界中でコロナウイルスが猛威を振るっています。まさにウイルスとの戦いです。有効な治療薬が開発されるまでは、知恵を出して世界中の人々と協力して取り組まなくてはなりません。このような非常事態にこそ自国の利益、自分の利益だけではなく、お互いがお互いを支える気持ちを持ちたいと思います。

本校の生徒の皆さんも、このような緊急事態の時こそ、本質を見失わないようにしましょう。自分さえ良ければいいという生き方は、絶対にしてはいけません。日本さえ良ければ他の国はどうなってもいいとは考えないでしょう。でも、自分のことになると、自分中心になっていませんか。人から感謝される生き方をすべきです。そのことが、充実した人生を送ることになるのです。

結局、人生というのはあなたが主人公となって自分の人生を充実させるためにあるのです。わがままで自己中心的、自分本位な人は、誰からも感謝されず、どんなに頑張っても充実感は得られません。親切な人、優しい人は周囲の評価を獲得して、人生がどんどん充実していきます。それは、結果として高い地位や収入につながることもあるでしょう。でも、お金や地位だけにとらわれている人の人生は、味気なくつまらないものです。そのようにして手に入れた人生では、決して充実感は得られないと心得るべきです。

新学期を充実させましょう。できることからひとつひとつ始めてください。今年うまく行かなかった人も、頑張りが足らなかった人も、また始めればいいのです。手遅れなんてありません。

でも、ひとつだけ気をつけておきたいことがあります。どんな結果になっても、それはあなたが選択した結果として受け入れるということです。決して人のせいにしてはいけません。人のせいにする人は、努力もせず進歩もありません。

令和2年度が本校生のみならず、すべての人々にとって良い一年になることを祈念して私の話を終わります。

令和2年3月19日

福岡県立朝倉光陽高等学校  
校長 河野 丈則